

船舶事故調査報告書

令和6年10月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和5年11月12日 05時35分ごろ
発生場所	岡山県 <sup>かさおか</sup> 笠岡市 <sup>よこべ</sup> 横辺島東方沖 金風呂港東防波堤灯台から真方位222° 1,740m付近 (概位 北緯34° 22.8′ 東経133° 30.9′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>マサ</sup> MASAは、航行中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和6年1月23日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート MASA、2.8トン
船舶番号、船舶所有者等	271-37086岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底外板に擦過傷、プロペラ翼に曲損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風速 約1～2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期 潮高 約64cm（乙島） 日出時刻：06時36分ごろ
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、笠岡市新笠岡港を出航し、北木島南方沖の釣り場に向けて同島西側海域を航行中、横辺島北東方沖の浅所（以下「本件浅所」という。）に乗り揚げた。 本船は、付近を航行中の漁船によりえい航されて笠岡市 <sup>きたぎ</sup> 北木島の金風呂漁港に入航した。 海上保安庁は、一般電話からの通報を受けた。 船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。
分析	本船は、航行中、本件浅所に乗り揚げたものと考えられるが、船長から情報が十分に得られなかったことから、乗り揚げた状況を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、夜間、本船が航行中、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。